

ジャンボタニシ駆除 高圧温水で高い効果

大分県(有)サンケン

【大分支局】土木系資材を取り扱う玖珠町の有有限会社サンケンでは、高圧温水を使ったスクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)の駆除テストを同町内の水田や用水路で実施した。85〜98度の熱水を1平方メートルあたり15秒間噴射し、農薬を使用せず熱湯だけで駆除効果を検証。テスト圃場では卵塊と成貝ともに100%駆除できた。駆除テストには生産

者、JA、行政機関など約20人が参加した。

同社は、高圧洗浄機を使用した高圧温水除草事業に乗り出している。「県西部振興局の働きかけで、ジャンボタニシの駆除へ挑戦することになりました」と同社環境事業部の武石博部長は話す。

スクミリンゴガイは氷点下3度以下になると多くが死滅する。しかし、1割ほどの個体は厳寒期に地中や用水路など比較的暖かい箇所で越冬し、水温の上がる田植え時期に稲の食害を引き起こす。

武石部長は「ジャンボタニシの特性や実験結果から、土用干し時期の卵塊と稲刈り後に越冬する成貝を用水路近辺で駆除し、越冬個体数を減らすことが最も有効です」と話す。



卵塊に向けて85〜98度の熱水を噴射